

競技注意事項

1. 競技規則について

本大会は、2019年度日本陸上競技連盟規則並びに本大会申し合わせ事項により実施する。

2. 参加資格について

- ①2019年度日本陸上競技連盟の登録者
- ②国公立大学陸上競技連盟加盟校の学生及び大学院生
- ③男子は各校1種目3名以内、女子は各校1種目2名以内。男子対校混成種目及び女子対校混成種目は2名以内。
1名3種目以内（徐：リレー競技）
- ④男女のリレーは各校それぞれ1チームまで参加できる。

3. 競技場について

主競技場の競争路及び助走路は全天候型である。スパイクのピンの長さはトラック9mm、フィールド12mm以下とする。また、スパイクピンの直径は4mm以内とする。

4. 招集について

- (1) 招集所は、競技場内、100m スタート付近に設ける。
- (2) 種目別招集開始・完了時刻は、プログラムの競技日程に記載している。
- (3) 招集の方法については、次の通りである。
 - ① 招集開始時刻に招集所で競技者係の点呼を受ける。その際、ナンバーカード・スパイクピン・商標の点検を受ける。トラック競技のみ腰ナンバーを受け取る。
 - ② 代理人による最終点呼は認めない。2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、あらかじめその旨を本人または代理人が、招集所に用意した同時出場届を提出する。
 - ③ 招集開始時刻、終了時刻は種目、組によって異なるので、競技日程記載の招集時刻をよく見て招集に向かうこと。
 - ④ リレー競技は、オーダーの変更にかかわらず、その都度リレーオーダー用紙(招集所に用意)に1チームにつき1部記入し、1組目の招集完了時刻の1時間前までに、招集所(競技者係)に提出すること。提出のない場合は棄権とみなし、処理する。
 - ⑤ 混成競技の第2種目以降の招集は、現地で行う。また、今大会は混成競技者控え場所は設けない。
 - ⑥ 競技運営の都合上、十種競技棒高跳びの競技を終了した競技者が半数程度になった場合、先にやり投げを実施する場合がある。
 - ⑦ 招集完了時刻に遅れた競技者/チームは、失格とする。

5. 競技の抽選及び番組編成について（レーン順・試技順）

- (1) トラック競技の予選のレーン順・フィールド競技の試技順は、プログラムに記載した順による。
- (2) トラック競技の準決勝以降の組み合わせ及びそのレーン順は、番組編成掲示板に掲示する。

6. 競技について

- (1) トラック競技について

- ① トラック競技の計時は、すべて写真判定装置を使用する。
- ② レーンで行うトラック競技においては、欠場者のレーンは空ける。
- ③ 短距離走では、競技者の安全のため、フィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーン（曲走路）を走る。
- ④ 競技規則 162 条 7 により、不正スタートをした競技者は 1 回で失格とする。
- ⑤ スターターの合図はイングリッシュコマンドとする。（「 On your marks 」、「 Set 」）
- ⑥ 競技の打ち切りについて

以下の時間で、競技を打ち切る。

- ・ 男子 5000m：競技開始 18 分経過時、あと 1 周に到達していない競技者。
- ・ 女子 5000m：競技開始 21 分経過時、あと 1 周に到達していない競技者。
- ・ 男子 10000m：競技開始 36 分経過時、あと 1 周に到達していない競技者。
- ・ 男女 10000mW：競技開始 60 分経過時、あと 1 周に到達していない競技者。

- ⑦ トラック競技においてプラス進出者を決める場合、その最下位委で同タイム者が出たときは下記の方法で決定する。

○100m, 200m, 400m, 800m, 100mH, 110mH, 400mH, 4×100mR, 4×400mR の同タイム（チーム）に関しては、細部（電気計時 1/1000）までを読み取り着差の判定をした上で決定する。それでも判定できない場合については同タイム者または代理人によって抽選をし、状況に応じて 1 レーン～ 8 レーンを使用する。抽選対象者（チーム）は呼び出しの放送後 10 分以内に指定の場所に集合すること。

○1500m の同タイム者は次のラウンドに進むことができる。

(2) フィールド競技について

- ① 投てき競技の計測は光波距離測定装置を使用する。ただし、砲丸投についてはメジャー計測とする。
- ② 投てき競技で光波距離測定装置が使用できない場合、計測は巻尺を使用することがある。
- ③ 跳躍及びやり投の競技者は、助走路の外側（走高跳は助走路内）に主催者が用意したマーカーを 2 個まで置くことができる。また、サークルで行う投てき競技は、マーカーを 1 つだけ使用することができる。
- ④ 棒高跳の競技者は、自分が希望する支柱の位置を競技が始まる前に担当審判員に申し出る。その後、位置を変更したい場合も担当競技役員に申し出る。
- ⑤ フィールド競技における競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従う。
- ⑥ 三段跳の踏切板は、砂場から男子 12m、女子 9m の地点に設置する。

(3) 競技者は勝手に競技場所を離れること、ビデオ装置・カセットレコーダー・ラジオ・CD・トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内に持ち込むことはできない（競技規則第 144 条 2(b)）。

(4) 上記を含む不当な行為をした競技者には警告が与えられ、場合によっては当該競技から除外される。警告は黄色（スタート動作時については黄黒色）カード、除外は赤色（スタート動作時については赤黒色）カードを示すことによって競技者に知らされる。

(5) ナンバーカードについて

- ① ナンバーカード（縦 20cm、横 24cm）は、各大学で準備すること。
- ② ナンバーカードの数字は、男子は黒、女子は赤で表示すること。
- ③ 跳躍種目については、胸、背の一方だけでもよい。

- ④ トラック競技はすべて、招集の際に配布する腰ナンバーカードを使用し、右腰やや後方に取り付けること。

7. 棄権について

- (1) 選手の棄権は、前日会議で受けつけた者のみとする。
- (2) 当日やむを得ず棄権する者は招集所にある所定の「棄権届」を招集開始前に競技者係に提出すること。
(オープン競技に棄権する際は、棄権料 500 円を支払う)
- (3) 棄権届を提出せずに棄権した場合はリレーを含め以後の競技への参加を認めない。

8. 競技用具について

競技用具は、競技場備え付けのものを使用し、個人の器具を持ち込んではいけません。ただし、棒高跳用ポールや、やり投げ用のやりに限り、個人のものを使用することができます。

9. 競技用靴について（競技規則第 143 条 2・3・4・5・6 参照）

スパイクピンの長さは、9mm以内、走高跳・やり投は 12mm以内とする。

いずれの場合もスパイクピンの数は、11 本以内とする。

10. 走高跳・棒高跳のバーの上げ方について

走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、最後の一人になり優勝が決定するまで次のとおりとする（ただし天候等の状況により変更することもある）。

種目	練習	1	2	3	4	5	以降
走高跳（女）	1m35/1m50	1m40	5cmずつ	1m65	1m68	1m71	3cm
走高跳（男）	1m75/1m90	1m80	5cmずつ	2m00	2m03	2m06	3cm
走高跳（七種）	1m25/1m40	1m30	5cmずつ	1m45	1m48	1m51	3cm
走高跳（十種）	1m50/1m70	1m55	5cmずつ	1m85	1m88	1m91	3cm
棒高跳（女）	2m10	2m20	20cmずつ	2m80	2m90	3m00	10cm
棒高跳（男）	3m40	3m50	20cmずつ	4m20	4m30	4m40	10cm
棒高跳（十種）	2m70	2m80	20cmずつ	3m60	3m70	3m80	10cm

※走高跳の練習について、競技者は上記の二つの高さから選択。

※全ての競技者の練習が終了時点で時間に余裕がある場合は、審判員の判断により任意の高さで練習しても良い。

11. 結果発表と抗議について

- (1) 各種目の結果発表は電光掲示板で行う。
- (2) 発表された結果に対する抗議は、競技規則第 146 条に定められている時間内（同一日に次のラウンドが行われる場合には 15 分以内、それ以外は 30 分以内）に、競技者自身または代理人が、審判長に対して口頭で行う。

12. 表彰及び対校得点について

- (1) 各種目 3 位までの入賞者には、表彰状を授与する。表彰は競技終了してから約 30 分後に行うので該当するものは表彰係の指示に従うこと。
- (2) 対校得点は、1 位 8 点、2 位 7 点、3 位 6 点、以下、5、4、3、2、1 点とする。
ただし、エントリー数が 8 名未満の場合、1 位（エントリー人数）点、2 位（エントリー人数-1）

点・・・とする。

- (3) 総合順位について、同点の場合は、上位入賞数の多い方を上位とする。それでも決定しない場合は、4×400mRの結果で決定する。

13. 練習場及び練習について

- (1) 大会前日は他団体の利用があるため、上尾陸上競技場での前日練習は行わない。前日練習場所の詳細については連盟HPにて連絡する。
- (2) 大会当日の練習は、補助競技場並びに公園内競技場周辺とする。なお、公園内は一般の利用者を最優先とする。

14. 一般注意事項

- (1) 競技者以外の者はトラック、フィールドに絶対に入らないこと。応援は必ずスタンドで行うこと。
- (2) 競技場内で着用するウェアや持ち込むバッグ等に表示されている商標は、「競技会における広告及び展示物に関する規程」に示すサイズを超えてはならない。これに違反したものについては主催者で処分する。
- (3) 応急処置、その他健康上の問題が生じた場合は救護室に連絡する。
- (4) 競技場での疾病・傷害等の応急処置は主催者が行うが、以後の責任は負わない。
- (5) 大会期間中の貴重品の保管は各自で行う。盗難にあってもその責任は負わない。
- (6) ユニフォームは各大学一種類のものに統一して着用すること。
- (7) 競技者の付き添いは一切認めない。従って、競技者以外は原則としてトラックならびにフィールド内に立ち入る事はできない。
- (8) 器具破損の場合は、当該選手の所属大学より原状復帰費用を徴収する。
- (9) 集団応援の場所は、バック・サイドスタンドのみとする。
- (10) メインスタンドでのテント等の使用は禁止する。
- (11) ゴミは各自持ち帰ること。
- (12) 開場時刻は以下の通り。
第1日目 7:30 第2日目 7:30 第3日目 7:30
- (13) 記録証の発行を希望する場合は、大会本部に申し出ること（発行料金 200 円）
- (14) 各校のテントや横断幕等は競技場内に限り 22 日～24 日の間保管できる。ただし、盗難・紛失に際して一切の責任を負わない。また、各校割り当てられた場所にまとめて管理すること。
- (15) 公園内は割り当てられた場所のみ、テント等をたてることができる。しかし、毎日必ず撤収し、ペグやピンなどを使って場所を確保するなどは行わず、すべてのものを持ち帰ること。